

豊島区基本構想(平成7年)
豊島区基本計画(平成9年)

都市像

暮らし豊かに ころ輝く都市

(新・基本構想 平成15年)
未来へ ひびきあう 人 まち・としま

継承

地域社会づくりの方向性(抄)

「ゆとりある生活空間をきずく」

*生活空間の安全性・快適性を高めることにより、だれもがいきいきと暮らしつづけられる都市づくりを進める。

市街地整備

[現状と課題]

*将来にかけて都市の持続的な発展を成し遂げていくためには、居住機能と商業業務機能の均衡ある発展をめざしていくことが課題で、商業業務地については、計画的な育成・整備を図るとともに、住宅地については、防災性の向上と良好な住宅・住環境の確保を中心的な課題として、市街地の整備を推進していくことが必要である。

(商業業務地の土地利用の基本方針)

*都市基盤整備と一体となった土地の有効活用を促進し、安全で快適な駅前広場や道路空間、駐車・駐輪施設などを整備していく。

<副都心>

*副都心の回遊性を確保していくため、快適な歩行者空間やオープンスペースの拡充を図る。

*歩行者の移動の快適性や安全性を高めるため、高齢者や障害者等の利用に配慮した地下及び地上の歩行者空間の整備を促進する。

<大塚駅>

*駅周辺整備計画に基づき、関係機関と協力して、駅舎の改造、駅前広場や周辺街路の再整備を推進するとともに、あわせて民間の良好な再開発を誘導し、駅を中心として一体的な周辺整備による快適な歩行者空間の充実を図る。

<目白駅>

*目白駅および駅周辺の交通機能を改善するため、関係機関と一体となって、駅舎の改造、駐輪場および駅前広場の整備、目白橋の架け替えを推進する。また、商業、文化、教育機能の充実と調和を図り、魅力的な都市空間を形成する。

<駒込駅>

*駒込駅周辺については、駅前広場に自転車駐車場や「染井吉野」発祥の地としての歴史を活かした公園を整備する。また、快適な商店街づくりや歩行者空間の整備を図り、活力ある生活拠点として育成していく。

<巣鴨駅>

*巣鴨駅周辺については、自転車駐車場の整備を進めるとともに、巣鴨地蔵通りなど周辺商店街の参加と協力のもとに、快適で安全な歩行者空間を充実するなど、地域の歴史や文化を活かした生活拠点の整備を図る。

交通体系

[現状と課題]

*手軽で利便性の高い自転車は、駅周辺や繁華街などに無秩序に放置されると、歩行の妨げや都市景観をそこなうばかりでなく、緊急時の消防や救急活動の障害となっている。自転車等放置の解消に向け自転車利用のルール確立とモラルの向上を含む放置自転車対策を進めていく必要がある。

(自転車対策の推進)

<自転車駐車場の整備>

*自転車駐車場の未整備な駅周辺については、計画的に自転車駐車場を整備する。

*鉄道の新駅設置又は駅施設の大改造等に対しては、鉄道事業者による自転車駐車場の整備等を要請する。

<放置自転車対策の推進>

*自転車利用のルールとマナーに関する指導啓発を推進するとともに、自転車駐車場の整備にあわせて放置禁止区域の指定を行い、放置自転車の撤去活動を推進し、駅周辺の放置自転車の解消をめざす。

その他の「地域社会づくりの方向性」で関連する記述

福祉のまちづくり

*高齢者や障害者等が、安心して外出でき、施設を快適に利用できるよう、道路や公園などの公共施設の整備に努めるとともに、公共交通機関の設備改善を関係機関に働きかけていく。

*高齢者や障害者等が安全かつ自由に移動できるよう、施設のバリアフリー化を進め、そのネットワーク化を図る。

コミュニティ

*今後は、地域活動に対する個人の潜在的な意識を行動へと結びつけていくことや、それぞれの地域主体が地域活動を自主的かつ活発に行えるよう、情報提供をはじめ組織や活動環境への支援を進めていく必要がある。

消費者

*地球の温暖化、省資源、リサイクルといった課題が深刻化しているなかでは、商品等の選択の基準に個人的嗜好だけでなく、環境への影響を加えるなど、消費者にも自覚と責任をもった行動が一層求められる。

国際交流

*生活に最も身近な自治体である区は、日本人と外国人の相互理解や交流を進め、差別や偏見のない地域社会の形成に努める必要がある。

商店街

*店舗の看板の統一化や自転車駐車スペースの確保など、快適で安心して買物を楽しむことができる環境を形成するための商店街の共同事業を支援する。

リサイクル・ごみ減量

*資源リサイクルやごみ減量に関する情報提供やPR等により、リサイクル意識を高め、リサイクルの実践行動へ結びつけていくとともに、区民・事業者・行政が、それぞれの責任と役割分担のもとに、ごみの発生抑制や資源回収のしくみを地域社会のなかに確立し、定着させていくことが必要である。
*放置自転車を修理したりリサイクル自転車…など、再生品を海外への支援、協力に活用する。

即する

豊島区都市計画マスタープラン(平成12年)

(まちづくりの目標)
住み続けたい、活力にあふれる、みんなのまち

道路網・交通体系整備の方針

(自転車対策の推進)

*自転車を有効な都市交通手段として位置づけ、鉄道やバスなどの公共交通手段や買い物環境との関連性に配慮し、自転車が安全で快適に通行できる方策づくりにと取り組めます。駅周辺では、自転車駐車場を計画的に整備します。特に新駅の開設や駅施設の改造、都市計画道路の拡幅等にあわせて積極的にと取り組めます。また、自転車利用のルールとマナーにつき啓発指導を推進するとともに、自転車駐車場の整備にあわせて放置禁止区域の指定をおこない、放置自転車の撤去など駅周辺の環境改善にと取り組めます。

地区別まちづくりの方針(12地区)の区分

駒込地区、巣鴨・西巣鴨地区、大塚地区、池袋北地区、池袋東地区、池袋西地区
雑司が谷地区、高田地区、目白地区、高松・要町・千川地区、長崎・千早地区、南長崎地区

*記述は地区の特性によってももちろん異なるが、総じて駅を中心とする「商業業務地」については、「にぎわいのある、地区の中心としての土地利用、まちづくり」を、「幹線沿道地」については「中高層の商業業務、都市型住宅の誘導」を、「一般住宅地」については「狭あい道路の拡幅、接道緑化、調和した建物誘導等による住環境の改善・保全」を、掲げている。

上記地区のうち、自転車施策に関する記述がある駅周辺の方針

西巣鴨駅周辺

*駅利用者等の利便性の向上や歩行者空間の確保のため、自転車駐車場を整備します。
策定後、1箇所整備

大塚駅周辺

*駅舎の改築、自由通路、都電を含めた駅前広場の再整備、自転車駐車場の整備などの再開発の誘導等により、にぎわいのある中心商業業務地としての土地利用をはかります。
策定後、計画検討中

要町駅・千川駅周辺

*駅利用者等の利便性の向上のため、自転車駐車場の整備をおこないます。
策定後、千川駅至近に1箇所整備

目白駅周辺

*オープンスペース豊かな駅前広場の形成とともに駅利用者等の利便性の向上をはかるべく目白通り地下横断通路や自転車駐車場の整備を行い、地区の玄関口にふさわしい魅力的な街並みの形成をすすめます。
策定後、事業完了

椎名町駅・東長崎駅周辺

*駅利用者等の利便性の向上のため、自転車駐車場の整備をおこないます。
策定後、椎名町に1箇所無料置場を設置
西武鉄道が東長崎駅改良工事を検討中

参考

基本計画策定(平成9年)後、都市計画マスタープラン策定(平成12年)までに実現した駐輪場の整備

*駒込駅周辺1箇所、落合南長崎駅1箇所

都市計画マスタープラン策定後に実現した駐輪場・置場の整備

*池袋駅周辺2箇所、西巣鴨駅周辺1箇所、巣鴨駅周辺3箇所、千川駅周辺1箇所、目白駅周辺2箇所、大塚駅周辺2箇所、椎名町周辺1箇所、高田馬場駅周辺1箇所

整合

(参考)環境問題に関する区の計画としては、平成9年に策定された「環境管理計画」があり、「地球温暖化防止」「CO2排出抑制」の観点から自動車の使用抑制や省資源・省エネの考え方はあるが、自転車利用についての記述は「通勤・通学・買い物にはできるだけ公共交通機関や自転車を利用する」という「区民の環境配慮指針」が示されているのみである。

(仮)豊島区自転車等の駐車対策に関する総合計画